

兵庫県豊岡市但東町

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 17 号 (平成 27 年度)

Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum
No. 17 (for the fiscal years of 2015)

あ い さ つ

平成 27 年度は当館が開館して 19 年目を迎えました。この間、モンゴル民族の文化・歴史・宗教などを常設展示し、楽しみながら異文化が学べる体験型の国内唯一の博物館としてモンゴルを紹介してきました。また、豊岡市とモンゴルの交流の輪を広げ深める国際交流の拠点としての役割を担ってまいりました。

今年度は、常設展示に加え企画展を 3 回開催し、これまでの企画展開催は通算 69 回を数え、モンゴル・日本の文化や歴史を広く紹介してきました。

また、11 月に当館内外で開催された地域イベント「しぼの宝まつり」に民族音楽コンサート等を協賛して実施、今年 3 月には「まるごとモンゴル雛まつり」を開催し、多彩な催しを行い終日多くの来館者で賑わいました。

国際交流では、10 月にモンゴル国友好訪問使節団 9 名を受け入れ、4 家庭にホームステイ、中学校での授業・部活動の交流、市内主要施設の見学・体験などを通じて大いに交流を深めました。

さらに、在日モンゴル国大使館及び在大阪モンゴル国総領事館を訪問し、当館活動の P R、情報交換や事業への協力・連携を相互に確認するなど友好関係を強め、またモンゴル秋祭りに出展して P R 活動を行いました。

来年度には開館 20 周年を迎えますが、この記念事業について地元団体と協同し企画案づくりを進めました。

終わりに、入館者数については前年度より 177 人、1.8%の減となりました。今後は、博物館本来の使命である文化振興はもとより、モンゴルとの交流団体、行政機関や在日モンゴルの方々との連携を一層図り、来館者数増に努めながら、地域や国際交流の拠点としての日本・モンゴル民族博物館を目指します。

平成 28 年 3 月 31 日

豊岡市立 日本・モンゴル民族博物館
館 長 大 谷 均



目 次

I. 平成 27 年度概要	1	VI. 管理運営	11
II. 展覧事業	1	1. 組織・職員	
1. 常設展		2. 予算の概要（決算額）	
2. 企画展		3. 利用状況	
III. 資料収集保存事業	4	4. 施設管理	
1. 寄贈		5. 博物館協力会	
2. 資料の貸出		6. 各種委員会委員等の受諾	
3. 資料の燻蒸		7. 博物館ネットワーク	
IV. 普及教育事業	5	8. 博物館日誌抄	
1. 出前授業		9. お客様の声（抜粋）	
2. 体験教室、講座の開催		10. 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館 の設置及び管理に関する条例	
3. イベントの開催		11. 施設概要	
4. トライやる・ウィークの受入れ		12. 交通案内	
5. 情報の発信と公開		13. 利用案内	
V. 国際交流事業	7		
1. モンゴル国との国際交流			
2. モンゴル国友好訪問使節団の受入れ			

I. 平成 27 年度概要

平成 27 年度は、当館の存在と活動をより広く周知を図るため、情報発信や在日モンゴル国政府機関等との関係構築に注力した年であった。

来年度には、開館 20 周年を迎えるにあたり記念事業の実施に向けて地域の団体とその企画案づくりを進めた。在日モンゴル国大使館、在大阪モンゴル国総領事館を訪問し、当館活動、情報交換や開館 20 周年記念事業などへの協力・連携の確認などを行い、また各種イベントに出展して PR を実施した。

交流事業では、今年度はモンゴル国友好訪問使節団（中学生年齢相当 6 名、引率者 3 名）の受入れを行った。

企画展示事業では、「アジアのおもちゃ」、「ー自然からのおくりものー丹後の藤織り」、「カザフの天幕ー文様に込められた家族への想いー」の異分野の企画展を 3 回開催した。また、市内各小学校への出前授業や市内外小学校の見学・体験受入れを通じて、教育普及活動に努めた。

通常の業務は、展示活動や資料収集・調査・施設管理・教育普及活動を中心にを行い、各種機関・団体等との連携をより密にする取組みを進めた年でもあった。

また、数年を要する事業で昨年度から着手した館所蔵品の台帳整備は、モンゴル資料の写真撮影・採寸及び台帳データベース入力など作業を推し進めた。

さらに、今年度もボランティアグループの協力を得て、当館前にオープンガーデンや案山子の設置、「しばの宝まつり」、「どんど焼き」など、地域づくり団体や地区公民館との共同事業を実施した。市では、地区公民館エリアを単位に住民主体の新しい地域コミュニティづくりが進められており、より地域と連携し協働した取組みが求められている。

入館者数については、高規格道路網の整備による人の流れの変化などにより、対前年度比 98.2%、177 人の減となった。厳しい市財政事情の中で、入館者数増が今後の大きな課題である。

II. 展覧事業

1. 常設展

(1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、A棟のたんとうの森、B棟のアジアの歴史と風土・モンゴル草原のいのり、C棟のモンゴル草原の暮らしと文化、伝承文化体験交流館の豊岡市たんとうの暮らしから構成されている。

- ①たんとうの森・・・人口樹林を配し、平安時代前期の朽木仏像 5 体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示
- ③モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ④モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具な

どを展示

- ⑤ 伝承文化体験交流館・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

(2) 常設展の更新

当館では、開館 10 周年に企画した特別展を契機に、常設展の展示替えを行い、より利用しやすいように工夫してきた。平成 20 年度からは、部分的な手直しにとどめており、平成 27 年度は次の部分について実施した。

- ① 伝承文化体験交流館への通路沿い展示スペースに展示物の追加

恐竜（木製）の展示に、恐竜の骨（レプリカ）及び恐竜の卵の化石を追加した。

(3) 屋外展示

- ① 山羊小屋 屋外の小屋に山羊 2 匹を飼育し公開している。

- ② 騎馬像（チンギス・ハーン）1 体及び馬像 2 体

- ③ ボランティアグループ「そよ風」の協力により、博物館前の広場に平成 24 年度から毎年オープンガーデンを設置し、公開している。来館者からも好評で、今後も継続する予定である。

(4) 展示解説の積極的な促進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内のガイドを行っている。見学の一助となるよう、利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心掛けている。

2. 企画展

(1) 第 67 回企画展 アジアのおもちゃ

平成 27 年 6 月 28 日～平成 27 年 9 月 15 日 70 日間（見学者数 1,452 人）

中国・インド・タイ・モンゴル・日本などアジア各地の身近な素材の遊び道具やカラフルな人形などを展示した。（協力：日本玩具博物館）



- (2) 第68回企画展 — 自然からのおくりもの — 丹後の藤織り
平成27年9月19日～平成27年12月8日 71日間(見学者数 2,940人)
古代より仕事着等に使われ、人々の生活と共にあったが、木綿の普及により姿を消していった「藤織り」を紹介した。(協力：丹後藤織り保存会)



- (3) 第69回企画展 カザフの天幕 — 文様に込められた家族への想い —
平成27年12月13日～平成28年5月10日
3月末現在87日間(見学者数 3,144人)
モンゴル国西部のカザフ民族に伝わる、女性が家族の健康・幸福を願う気持ちを含めて刺繍し織り上げた装飾品など、カザフ民族の華やかな刺繍文化を紹介した。(協力：NPO法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ)



Ⅲ. 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、寄贈を受けたモンゴル民族及び考古資料を中心に、旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料、またモンゴル国内や国内各地からの寄贈、寄託及び購入したもので構成されている。

平成 26 年度より台帳電子化整備及び資料の調査・確認に着手しており、現在モンゴル民族資料については、約 5 千点を確認している。

来年度以降においても、引き続き資料の調査・確認及び台帳の整備を進めることにしている。

1. 寄 贈

(1) 寄贈資料（敬称略・順不同）

【個人】

小田貴子（東京都目黒区）→ デール・帯 各 1 点（女性用）

【団体】

モンゴル国友好訪問使節団（モンゴル国）

→ デール 7 点（男性用 2 点、女性用 5 点）

→ 帽子 3 点（女性用）

→ 図録 「NATIONAL MUSEUM OF MONGOLIA」他写真主体図録 2 点

2. 資料の貸出

(1) ㈱ポプラ社ポプラディアネット事業部（東京都新宿区）

写真データ 1 式（馬頭琴、馬頭琴の演奏の様子、民族衣装）

(2) キッズプラザ大阪（大阪市北区）

ミニチュア組立て式ゲル 1 式

(3) 舞鶴市立岡田小学校（京都府舞鶴市）

モンゴルの写真データ 1 式、DVD 1 枚

(4) 三田市立志手原小学校（兵庫県三田市）

ゲルの模型 2 点

(5) 京都府立久美浜高等学校（京都府京丹後市）

デール・帯各 2 点、帽子 3 点

3. 資料の燻蒸

平成 27 年度は、害虫駆除センター・クリーン有限会社に委託して、全館を対象にピレスロイド系殺虫剤の空中散布、有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧をそれぞれ 2 回実施し、収蔵庫内には有機リン系殺虫剤の蒸散剤を 3 回設置して、殺虫・防虫処理を実施した。

IV. 普及教育事業

1. 出前授業

学校からの依頼に応じて、学校での授業に職員を派遣する出前授業を平成12年度から実施している。授業では教員と協同し、持参した博物館資料を活用するなど、児童・生徒の理解を助けるよう工夫した。

市教育委員会の方針に沿い、豊岡市内の小学校23校を対象に出前授業を実施した。

日付	学校名	内容
① 6月16日	豊岡市立寺坂小学校 1,2年生 13名	「スーホの白い馬」
② 1月19日	豊岡市立田鶴野小学校 2年生 26名	「スーホの白い馬」
③ 1月22日	豊岡市立奈佐小学校 2年生 11名	「スーホの白い馬」
④ 1月25日	豊岡市立神美小学校 2年生 34名	「スーホの白い馬」
⑤ 1月26日	豊岡市立日高小学校 2年生 78名	「スーホの白い馬」
⑥ 1月28日	豊岡市立豊岡小学校 2年生 64名	「スーホの白い馬」
⑦ 1月29日	豊岡市立福住小学校 2年生 19名	「スーホの白い馬」
⑧ 2月1日	豊岡市立静修小学校 2年生 7名	「スーホの白い馬」
⑨ 2月2日	豊岡市立三江小学校 2年生 37名	「スーホの白い馬」
⑩ 2月4日	豊岡市中竹野小学校 1,2年生 10名	「スーホの白い馬」
⑪ 2月5日	豊岡市立中筋小学校 2年生 27名	「スーホの白い馬」
⑫ 2月8日	豊岡市立小坂小学校 2年生 21名	「スーホの白い馬」
⑬ 2月9日	豊岡市立府中小学校 2年生 34名	「スーホの白い馬」
⑭ 2月12日	豊岡市立八代小学校 2年生 6名	「スーホの白い馬」
⑮ 2月15日	豊岡市立八条小学校 2年生 69名	「スーホの白い馬」
⑯ 2月16日	豊岡市立城崎小学校 2年生 22名	「スーホの白い馬」
⑰ 2月19日	豊岡市立新田小学校 2年生 32名	「スーホの白い馬」
⑱ 2月23日	豊岡市立港東小学校 2年生 12名	「スーホの白い馬」
⑲ 2月25日	豊岡市立三方小学校 2年生 25名	「スーホの白い馬」
⑳ 2月26日	豊岡市立港西小学校 1,2年生 20名	「スーホの白い馬」
㉑ 3月1日	豊岡市立清滝小学校 1,2年生 32名	「スーホの白い馬」
㉒ 3月3日	豊岡市立小野小学校 2年生 18名	「スーホの白い馬」
㉓ 3月4日	豊岡市立五荘小学校 2年生 124名	「スーホの白い馬」

2. 体験教室・講座の開催

開催日	教室名	参加者数
① 6月21日	モザイクでお絵かき	19名
② 7月26日	やきもの	11名
③ 7月28日	プリザーブドフラワー	10名
④ 8月3日	モザイクで絵を描こう	8名

⑤	8月11日	おもちゃを作って遊ぼう	9名
⑥	11月10日	ひこうき作り	18名
⑦	12月13日	やきもの	11名
⑧	12月25日	カップに絵を描こう	10名
⑨	3月5日	カザフの刺繍	10名

合計 9 講座 106 名

3. イベントの開催

(1) ミュージアムコンサート

平成 27 年 11 月 1 日（日）、地域あげてのイベント「しぼの宝まつり」が博物館内外で初めて開催された。当館も民族音楽コンサート（馬頭琴奏者村上宏治氏）、モンゴルの菓子・お茶のふるまいコーナーを設けた。

(2) まるごとモンゴル雛まつり

平成 28 年 3 月 6 日（日）、恒例となった第 5 回まるごとモンゴル雛まつりを博物館内で開催した。

前日の 5 日には、カザフ文様刺繍づくりワークショップを開催し、6 日には、しゃがい競馬ゲーム大会、ギャラリートーク、馬頭琴・ドンブラミニコンサートなど多彩な催しを実施した。

(3) おんぷの祭典（貸館事業）

平成 27 年 11 月 14 日（土）、世界で活躍する音楽家がクラシック音楽を市内各地で演奏するおんぷの祭典の街角コンサートを当館内で開催した。

4. トライやる・ウィークの受け入れ

但東中学校 2 年生 2 名（男子 2 名）を受入れ、生徒は山羊の飼育、収蔵品写真撮影、博物館内外の環境整備などに取り組んだ。



5. 情報の発信と公開

博物館を有効に利用できるよう、博物館活動に関する様々な情報を発信して

いくことは重要な活動のひとつである。最近はインターネットによる情報発信を行っており、一昨年に開設したフェイスブックも重要な手段となっている。

博物館の事業の広報に留まらず、様々なメディアを通じて積極的に情報を発信するよう努めている。

(1) 博物館の広報活動

① 博物館事業案内などの主な定期発送先

各小学校、豊岡市各地区公民館、報道関係機関など。

② 報道機関への資料提供

③ 旅行会社への資料提供

④ 10/31 2015 ナマリーンバヤル（モンゴル秋の祭典）に出展し、当館のPRを行った。

⑤ 11/1 博物館内外で開催された「しぼの宝まつり」で当館のPRを行った。

⑥ 1/17 どんど焼き（資母地区公民館、資母まちづくり協議会等との共催事業）

(2) インターネットによる情報提供

① 電子メール

② ホームページ・フェイスブック

インターネットの普及・利用者の増加に対応し、博物館もホームページ及びフェイスブックを開設している。

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

<https://www.facebook.com/monmuseum>

ホームページの内容は下記のとおりである。

- ・博物館の沿革と経緯
- ・交通案内・利用案内
- ・収蔵資料
- ・展示室紹介
- ・国際交流
- ・イベント情報
- ・ミュージアムショップのご案内

ホームページ・フェイスブックの更新や追加は、催し物案内など定期的に行うもののほか、最新の情報掲載を随時行っている。

V. 国際交流事業

1. モンゴル国との国際交流

モンゴル国との交流については、隔年で中学生主体の友好訪問使節団の受入れ・派遣、駐日モンゴル国政府機関等との情報交換や関係強化、豊岡市国際交流事業への協力、各種イベントの開催など、多くの方々との関わりのもと継続

して行っている。

(1) 在大阪モンゴル国総領事館訪問

6月11日、総領事館を訪問して、総領事に当館人事異動による着任挨拶、当館の活動予定や来年秋の開館20周年記念事業への臨席案内などを伝えるとともに、情報交換や協力依頼などを行った。

(2) 2015 ナマリーンバヤル出展

10月31日、在大阪モンゴル国総領事館主催のナマリーンバヤル（モンゴル秋祭り）が国立民族学博物館（吹田市）で開催され、当館も出展してPR、参加団体と情報交換などを行った。

(3) モンゴル民族音楽等による交流

- ① しぼの宝まつりにおいて馬頭琴奏者村上宏治氏を招き、来場者にモンゴル音楽に触れてもらうミニコンサートを開催した。
- ② まるごとモンゴルひな祭りにおいて馬頭琴奏者ネルグイ氏、ドムブラ奏者クグルシン氏、NPO 法人しゃがぁ理事長西村幹也氏を招き、民族音楽鑑賞や遊びの体験により、モンゴルを身近に感じてもらう催しを開催した。

2. モンゴル国友好訪問使節団(中学生年齢相当)の受け入れ

平成27年度は、モンゴル国の中学生6名を主体とした計9名の友好訪問使節団を受け入れた。市内4家庭にホームステイし、但東中学校での授業・部活動の体験・交流、施設訪問・見学、海の体験などを通して大いに交流を深めた。

(1) 使節団

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 団長 | B. ニースレルフー（オブス県教育文化局教育専門官） |
| 副団長 | D. バヤルビレグ（モンゴル国関税庁職員） |
| 事務局 | D. ムンフズル（引率、モンゴル画家） |
| 団員 | T. ツェレンチメッド（オブス県マルチン郡小中学校9年生） |
| 〃 | N. アナル（ウランバートルナラン私立小中学校6年生） |
| 〃 | B. ムンフーオド（ウランバートルナラン私立小中学校9年生） |
| 〃 | S. エンフメンド（オブス県マルチン郡小中学校6年生） |
| 〃 | A. エンフデルゲル（ウランバートルナラン私立小中学校9年生） |
| 〃 | S. ウヤンガ（オブス県マルチン郡小中学校8年生） |

(2) 日程

- | | |
|-------|--|
| 10月2日 | 関西国際空港到着入国、豊岡市に到着、歓迎交流会（ホテル幸祥泊） |
| 10月3日 | 玄武洞ミュージアム見学、竹野スノーケルセンターで海の体験、コウノトリの郷公園・文化館見学（ホストファミリー宅泊） |
| 10月4日 | ホストファミリーと終日過ごす（ホストファミリー宅泊） |

- 10月5日 副市長表敬訪問、但東中学校で学校給食試食、授業（書道）・部活動（剣道）の体験及び交流（ホストファミリー宅泊）
- 10月6日 城崎マリンワールド及び当館他市内施設見学、さよならパーティ（シルク温泉やまびこ泊）
- 10月7日 関西国際空港からモンゴル国に帰国（韓国・仁川経由）

(3)使節団員感想（抜粋）

① T. ツェレンチメッド（オブス県マルチン郡小中学校9年生、男子）

こんにちは。初めて飛行機に乗ってそれぞれの国の空港が違うことがわかりました。日本人はあいさつをする時、相手と目を合わせてあいさつをします。私もできるようになりました。自然や景色は、とてもきれいです。

日本人は、ご飯や汁を大切にするので、私もおご飯を食べる時、ひとつも残さず食べるようにがんばりました。日本の温泉に入って、体が元気になりました。海の生き物や大きい魚は、かしこかったです。私は、魚を食べられるようになりました。家に帰って家族みんなに話してあげるたくさんの思い出をつくりました。

② N. アナル（ウランバートルナラン私立小中学校6年生）

ナラン学校6年生の生徒で、11歳です。

モンゴルから韓国に来たら夜遅くとっても疲れました。朝起きて日本に行くのは難しくて行きたくないと思っていましたが、やっぱり来てよかったと思います。

日本の建物は、とっても高いと思っていましたが、そうでもなかったです。でも来てよかったと思います。たくさんおもしろい思い出をつくりました。僕はあまりご飯をたくさん食べないので、心配をかけてごめんなさい。ホームステイの家族のみんなにありがとうございます。

③ B. ムンフーオド（ウランバートルナラン私立小中学校9年生）

ナラン学校の9年生の生徒で、14歳です。

あたたかい心で迎えに来てくれました。最初は、ちょっと緊張があったんですが、最後に慣れて仲良くなりました。ホームステイの家族は、すごくやさしく丁寧でした。日本人は、頭がいい元気な人でした。こんないい機会をつくってくれた皆さん本当にありがとうございました。

たくさんおいしいものを食べて、自然のいいところでいろいろな楽しい旅を体験しました。日本へ来ることをすごく遠いと思っていました。実は飛行機に乗って、マイクロバスに乗ってここまで来たら近かったです。

生の魚を食べることができると思ったんですが、残念ながらできなかったです。何故といえば、やわらかいからです。

マイクロバスで長い時間走ると気分が悪くなったり疲れたりしますが、

たくさんのいい所を見ると目が覚めて元気になります。泳げることは大変ですが、何とかがんばって自分でできる限りうまくできてうれしいです。

④ S. エンフメンド (オブス県マルチン郡小中学校 6年生)

オブス県マルチン郡小中学校 6年生で、11歳です。

私は、日本人は、モンゴル人と同じと思っていました。でもとっても違うと思います。何故かという、日本の文化と習慣がとっても違います。

毎晩お風呂に入らなければならないのと、モンゴルと違う味のご飯を食べているのが不思議でした。自然も緑も豊かで、とってもきれいでした。

⑤ A. エンフデルゲル (ウランバートルナラン私立小中学校 9年生)

ナラン学校の9年生の生徒で、13歳です。

日本に着いてからいろんな思い出をつくりました。日本の文化、人のやさしさがとっても気に入りました。

ホームステイの家族は、私を大切なお客さんのように迎えてくれたのが、とってもうれしかったです。毎晩楽しく遊んでおもしろかったです。

それから、日本の中学校は勉強する環境が全部そろっていて、とってもうらやましく思いました。料理では、さしみは食べられなかったです。ホームステイの家族と別れるのは、とってもつらかったです。

⑥ S. ウヤンガ (オブス県マルチン郡小中学校 8年生)

オブス県マルチン郡の中学校 1年生の生徒です。日本に来て驚きました。

私のふるさととは、違うものがたくさんあります。たとえば、日本は緑に恵まれています、私のふるさとには緑の木がとても少ないです。

日本人は、優しくていいです。このことが、日本に来てからわかりました。日本の但東中学校の生徒たちと一緒に勉強して楽しかったです。

海の生き物、イルカやいろいろな動物のショーを見て驚きました。動物たちは、考えて頭がよかったです。



10/5 但東中学校での書道体験・交流



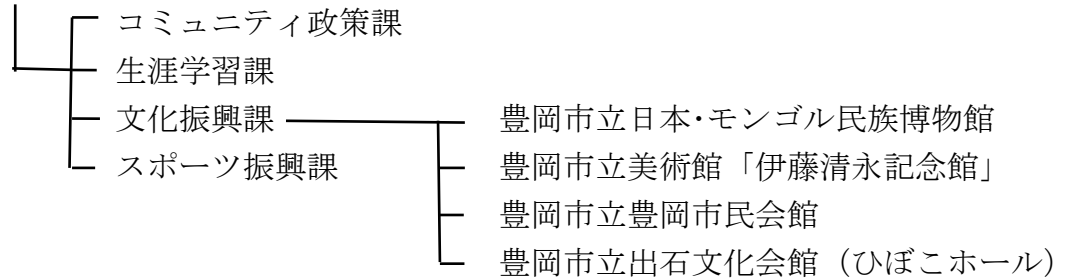
10/6 さよならパーティ

VI. 管理運営

1. 組織・職員（平成 28 年 3 月 31 日現在）

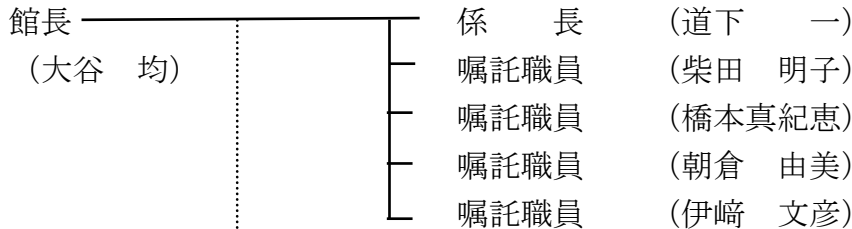
(1) 組織

豊岡市地域コミュニティ振興部



顧問（福田芳郎）

⋮



博物館協力会

(2) 職員

館長	大谷 均	(平成 27 年 4 月～)
		(嘱託職員)
係長	道下 一	(平成 26 年 4 月～)
嘱託職員	柴田 明子	(平成 13 年 4 月～)
嘱託職員	橋本真紀恵	(平成 17 年 4 月～)
嘱託職員	朝倉 由美	(平成 25 年 4 月～)
嘱託職員	伊崎 文彦	(平成 27 年 4 月～)

(3) 事務分掌

大谷 均	管理運営に関すること。講師の派遣に関すること。モンゴル国との国際交流、モンゴル関係団体との連絡調整、文化財の調査研究、文化財保護に関すること。
道下 一	歳入歳出及び経理、館の庶務、企画展示、出前授業及び講師派遣に関すること。各種教室・講習会の開催、ホームページ等の管理に関すること。
柴田 明子	歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。職員の勤務管理に関すること。書籍及び館内外

の管理に関すること。

橋本真紀恵 受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。各種教室・講習会の開催、図書及び館内外の管理に関すること。博物館協力会に関すること。文書管理に関すること。

朝倉 由美 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。書籍及び館内外の管理に関すること。収蔵品台帳に関すること。館の庶務及び文書管理に関すること。

伊崎 文彦 歳入歳出及び経理、受付及び案内、常設展示・企画展示に関すること。ミュージアムショップに関すること。館の庶務及び館内外の管理に関すること。

2. 予算の概要(決算額)

単位:千円(百円以下四捨五入)

[人件費] 21,755

- ① 報酬 9,762 (嘱託職5名)
- ② 給与 4,158 (一般職1名)
- ③ 職員手当等 4,706 (扶養手当 78、通勤手当 979、時間外勤務手当 276、期末手当 2,791、勤勉手当 582、住居手当 0、こども手当 0)
- ④ 共済費 3,129

[管理費] 7,248

- ① 賃金 918
- ② 旅費 5 (普通旅費)
- ③ 需用費 4,199 (消耗品費 205、燃料費 96、印刷製本費 110、光熱水費 3,522 修繕料 228、飼料費 38)
- ④ 役務費 296 (通信運搬費 226、手数料 9、保険料等 61)
- ⑤ 委託料 1,372 (電気保安点検 178、自動ドア点検 57、消防施設点検 25、空調設備点検 216、芝生管理 130、清掃管理 205、警備 259、電気使用料監視 52、資料燻蒸 150、除雪 100)
- ⑥ 使用料 440
- ⑦ 備品購入費 8
- ⑧ 負担金 10

[事業費] 1,931

- ① 報償費 480
- ② 旅費 44
- ③ 需用費 990 (消耗品費 988、食料費 2)
- ④ 役務費 79 (通信運搬費 49、広告料 30)
- ⑤ 委託料 300
- ⑥ 使用料 38

※別途、モンゴル国友好訪問使節団受入事業は、国際交流推進費に 2,142 千

円支出済み。

3. 利用状況

当館は平成8年11月3日に開館し、利用者は平成28年3月末累計で、423,466名となった。平成27年度は開館日数が313日で、入館者が9,840名であった。

平成27年度利用者は前年度と比べ1.8%の減少となった。原因としては、チューリップまつりの開催期間の関係などが考えられるが、今後は、より情報発信などの充実に努めなければならない。

【平成23年度(開館日:309日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	40	40	23	45	49	40	30	35	14	16	14	30	376
一般	796	463	190	188	335	206	393	376	160	165	193	397	3,862
高、大	12	7	2	2	19	9	14	1	2	3	2	10	83
小、中	60	29	7	14	59	8	7	7	2	23	19	44	279
その他	892	433	242	531	555	286	592	517	230	517	523	635	5,953
計	1,800	972	464	780	1,017	549	1,036	936	408	724	751	1,116	10,553
1日平均	67	36	19	29	39	21	38	37	17	30	31	41	34

【平成24年度(開館日:309日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	26	41	68	24	28	54	33	28	19	18	26	47	412
一般	566	702	327	225	305	327	376	492	196	153	229	502	4,400
高、大	7	15	3	6	10	1	15	2	0	2	8	4	73
小、中	47	51	8	19	31	5	8	13	4	5	24	91	306
その他	906	722	554	500	543	420	280	540	222	318	803	756	6,564
計	1,552	1,531	960	774	917	807	712	1,075	441	496	1,090	1,400	11,755
1日平均	55	57	37	29	35	31	27	41	19	21	45	52	38

【平成25年度(開館日:305日)】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	41	36	34	21	35	73	28	32	41	10	26	60	437
一般	634	421	289	197	353	316	228	510	139	140	199	362	3,788
高、大	4	14	12	1	39	5	1	7	1	2	3	7	96
小、中	57	24	6	17	58	13	5	4	6	14	20	47	271
その他	728	508	488	406	622	347	512	432	221	468	748	585	6,065
計	1,464	1,003	829	642	1,107	754	774	985	408	634	996	1,061	10,657
1日平均	54	39	32	25	40	29	30	38	20	28	42	39	35

【平成 26 年度(開館日:308 日)】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	49	50	20	12	27	39	26	16	8	10	18	61	336
一 般	620	288	313	246	394	216	332	534	124	89	177	332	3,665
高、大	13	11	1	2	15	3	15	7	1	4	19	8	99
小、中	58	24	7	10	51	13	4	18	4	5	25	44	263
その他	769	323	268	337	617	364	354	578	256	464	800	524	5,654
計	1,509	696	609	607	1,104	635	731	1,153	393	572	1,039	969	10,017
1日平均	56	26	23	23	41	24	28	44	17	25	43	36	33

【平成 27 年度(開館日:313 日)】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会地区	29	42	47	42	16	41	60	37	19	27	7	43	410
一 般	549	274	155	135	258	244	220	350	173	145	203	373	3,079
高、大	1	12	7	6	62	17	16	53	36	2	6	13	231
小、中	47	19	3	9	34	15	8	11	6	5	23	47	227
その他	395	453	217	300	353	214	300	1,406	332	421	728	774	5,893
計	1,021	800	429	492	723	531	604	1,857	566	600	967	1,250	9,840
1日平均	38	29	17	18	27	20	22	71	23	26	39	48	31

4. 施設管理

(1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理を豊岡市シルバー人材センターなどに委託している。本年度は、ボランティアで行っていただいた活動も含め4回の除草作業を実施、加えて当館職員による除草・清掃作業を実施した。

また、博物館協力会や近隣地区の皆さんにも、花の植栽・管理、広場除草やフラワーガーデン設置など館外環境の向上に協力をいただいた。

(2) 補修工事

男女トイレの水まわりに不具合が発生したため、修繕工事を実施した。(平成 28 年 3 月)

5. 博物館協力会

博物館協力会は、当館が位置する資母地区の住民から「いつまでも美しい建物にしよう」という声上がり、加藤廣巳氏と塩川剛三氏の呼びかけで、平成 9 年 2 月 10 日に発足した。会長は、博物館が位置している如布区長がこれにあたり、周辺地域の区長・役員や各団体の長が理事として連なる。加えて、但東地域選出市議会議員、協力会元会長及び博物館 OB が顧問となる役員構成になっ

ている。

平成 27 年の活動内容は以下のとおりである。

(1) 役員

会 長 柴原 重春

理 事 12 名 顧 問 10 名

(任期：平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

(2) 活動内容

①役員会の開催

平成 27 年 5 月 12 日に博物館主催による役員会を開催し、博物館の現状説明と運営に対しての協力依頼を行った。

②芝生広場除草などのボランティア作業

敷地内芝生広場の除草や、山羊のえさの提供などに協力いただいた。

③各種事業への協力

平成 27 年 3 月に開催した、まるごとモンゴル雛まつり（馬頭琴、ホーミー演奏ほか）の開催 PR に協力いただいた。

6. 各種委員会委員などの受諾

平成 27 年度は、博物館職員が委嘱を受けている各種委員会、協会役員などはなし。

7. 博物館ネットワーク

(1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、平成 28 年 3 月末で 142 館が加盟し、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・平成 27 年 5 月 兵庫県博物館協会総会
- ・兵庫県博物館ガイドの作成、配布
- ・協会ホームページで夏休み子ども向けイベントの紹介
- ・展覧会案内情報更新
- ・協会ホームページの更新

(2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、平成 9 年 4 月 25 日に設立され、平成 28 年 3 月末現在では 21 館が加盟している。当館は平成 9 年 4 月に加盟し、その後、幹事館となり、平成 18 年 6 月から平成 21 年 8 月まで事務局担当、その後平成 22 年度まで監事を務めた。以後、平成 31 年度まで役員就任の予定はなし。

- ・平成 27 年 7 月 2 日 総会
- ・平成 27 年 10 月 28 日 研修会（講演会）

・平成 27 年 11 月 7～8 日 但馬まるごと感動市に出展

8. 博物館日誌抄

平成 27 年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4 月 9 日 第 67 回企画展展示内容等日本玩具博物館訪問打合せ（館長、道下、柴田、伊崎）
- 4 月 15 日 2015 たんとうチューリップまつり開園(4/15～26 期間中入館対応)
- 4 月 18 日 豊岡市合併 10 周年記念みんなのパレード参加（資母小学校児童、市国際交流協会但東支部会員、道下、橋本、柴田、伊崎、計 14 名）
- 4 月 21 日 島根県教育庁文化財課来館（銀製品確認）
- 4 月 23 日 学校等&但東振興局連絡会会議（館長）
- 4 月 24 日 グーグルインドアビュー撮影来館
- 4 月 27 日 博物館美術館協同事業担当者打合せ会（道下）
- 4 月 28 日 博物館収蔵品台帳整備第 8 回WG会議
- 5 月 1 日 毎日新聞社博物館取材来館
- 5 月 11 日 館内会議
第 68 回企画展展示内容丹後藤織り保存会訪問打合せ（館長、道下、柴田、伊崎）
- 5 月 12 日 博物館協力会役員会（館長、道下、橋本）
- 5 月 14 日 消防施設・設備立入検査（豊岡市消防本部）
- 5 月 20 日 いのちの輝き体験旅行中学生見学受入れ（神戸市立垂水中学校 186 名）
- 5 月 21 日 開館 20 周年記念事業検討会準備会（博物館協力会会長以下 2 名、館長、道下）
- 5 月 29 日 第 67 回企画展の展示品借用（道下、橋本、伊崎）
- 6 月 1 日 トライやる・ウィーク受入れ（6/1～5 但東中学校 2 年生男 2 名）
館前広場オープンガーデン設営（開園 6/3～17 そよ風）
- 6 月 4 日 館内会議
- 6 月 5 日 豊岡市国際交流協会但東支部役員会（館長、道下）
- 6 月 8 日 但東中学校にモンゴル国友好訪問使節団交流受入依頼（館長、道下）
- 6 月 11 日 在大阪モンゴル国総領事訪問（館長、道下）
- 6 月 12 日 当館に A E D 設置
開館 20 周年記念事業検討会準備会（博物館協力会会長以下 3 名、館長、道下）
- 6 月 13 日 金津元館長 7 回忌法要参列（館長、道下）
- 6 月 21 日 モザイクでお絵かき教室（資母小学校 3 年学 P 19 名）
- 6 月 22 日 学校等&但東振興局連絡会会議（館長）
- 6 月 24 日 企画展展示替作業（全職員）
- 6 月 28 日 第 67 回企画展「アジアのおもちゃ」開始（9/15 まで）

- 7月2日 但馬地域博物館連絡会総会（館長）
クールスポット開始（7/1～9/30）
- 7月9日 館内会議 博物館収蔵品台帳整備第9回WG会議
神戸新聞社企画展取材来館
- 7月13日 第1回開館20周年記念事業検討会（博物館協力会3名、地域づくりの会しぼ、資母地区公民館、商工会青年部但東支部、館長、道下）
- 7月22日 芝生広場除草ボランティア作業（市シルバー人材センター）
- 7月26日 やきもの教室（11名）
- 7月27日 消防設備点検業者来館点検
- 7月28日 第1回豊岡市博物館及び美術館運営委員会（館長）
プリザーブドフラワー教室（10名）
- 8月3日 館内会議
モザイクで絵を描こう教室（8名）
- 8月7日 国学院大学生見学受入れ（32名）
- 8月11日 おもちゃを作って遊ぼう教室（9名）
- 8月27日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会委員視察来館
- 9月7日 第2回開館20周年記念事業検討会（博物館協力会3名、地域づくりの会しぼ、資母地区公民館、商工会青年部但東支部、館長、道下）
- 9月8日 館内会議
第68回企画展展示品借用（橋本、柴田）
- 9月16日 企画展展示替作業（全職員）
- 9月18日 豊岡市国際交流協会但東支部役員会（館長、道下）
- 9月19日 第68回企画展「自然からのおくりもの 丹後の藤織り」開始（12/8まで）
- 9月24日 モンゴル国友好訪問使節団受入ホストファミリー打合せ会（館長、道下）
- 10月1日 館内会議
大阪府立長吉高等学校見学受入れ（18名）
- 10月2日 モンゴル国友好訪問使節団受入れ（10/2～7）
- 10月9日 資母小学校6年生来館見学（13名）
- 10月12日 文化財室から埋蔵文化財発掘品の確認来館
埋蔵文化財発掘品（土器帆他）を文化財室倉庫に搬送
- 10月14日 しぼの宝まつり実行委員会（館長）
- 10月16日 資母小学校1・2年生来館見学・体験（24名）
- 10月19日 兵庫県高等学校教育研究会社会科部会研究会研修・講演会
- 10月26日 茨城県立自然博物館からモンゴル生活物品下見来館（2名）
館内会議
- 10月31日 2015 ナマリーンバイタルに出展（民族学博物館 館長、道下）
- 11月1日 しぼの宝まつり開催（当館裏駐車場 全職員）

- 11月5日 神戸市シルバーカレッジ生見学受入れ (39名)
- 11月7日 関西文化の日実施 (当館 11/7~8 168名入館)
- 11月8日 安国寺どうだんつつじ一般公開 (11/8~23) 期間中入館対応
- 11月10日 ひこうき作り教室 (なかよし交流会 18名)
- 11月13日 資母認定こども園児見学 (17名)
- 11月14日 おんぷの祭典街角コンサート (貸館 中村カルテット)
- 11月20日 館内会議
- 12月1日 レベル・計測システム他備品を文化財室に引渡し・所管換え
- 12月3日 朝来市立梁瀬小学校2年生来館見学・体験 (52名)
- 12月9日 企画展展示替作業 (全職員)
- 12月13日 第69回企画展「カザフの天幕 文様に込められた家族への想い」開始 (5月10日まで)
やきもの教室 (11名)
- 12月17日 大阪府立能勢高等学校見学受入れ (18名)
- 12月25日 カップに絵を描こう教室 (平田子ども会 10名)
- 1月8日 NHK神戸支局企画展取材来館
- 1月14日 第69回企画展NHKテレビ放映
- 1月15日 出石町内4駐車場においてパンフレット・チラシ配布 (3/27までの土・日曜日 シルバー人材センター出石事業所依頼) 入館対応
- 1月17日 どんど焼き&雪まつり
- 1月19日 学校等&但東振興局連絡会会議 (館長)
- 1月28日 京丹後市立弥栄小学校2年生来館見学・体験受入れ (32名)
- 2月2日 資母小学校3年生来館見学 (12名)
- 2月8日 弘道小学校2年生来館見学・体験受入れ (34名)
- 2月12日 兵庫県博物館協会研究会 (伊崎、朝倉)
高橋小学校2年生来館見学・体験受入れ (7名)
- 2月15日 京丹後市立大宮南小学校2年生来館見学・体験受入れ (21名)
- 2月16日 京丹後市立新山小学校2年生来館見学・体験受入れ (42名)
- 2月18日 消防設備点検業者来館点検
京丹後市立吉原小学校及び五箇小学校2年生来館見学・体験受入れ (36名)
- 2月19日 合橋小学校2年生来館見学・体験受入れ (16名)
- 2月23日 第2回豊岡市博物館及び美術館運営委員会 (館長)
- 3月1日 京丹後市立高龍小学校2年生来館見学・体験受入れ (20名)
- 3月3日 2020 東京オリ・パラホストタウン登録県庁協議
- 3月5日 カザフの刺繍ワークショップ (10名)
- 3月6日 2016 まるごとモンゴル雛まつり (博物館内)
- 3月7日 京丹後市立網野北小学校2年生来館見学・体験受入れ (37名)
- 3月8日 資母小学校2年生来館見学・体験受入れ (8名)

- 3月10日 京丹後市立網野南小学校2年生来館見学・体験受入れ（34名）
- 3月11日 京丹後市立久美浜小学校2年生来館見学・体験受入れ（22名）
- 3月18日 駐日モンゴル国大使館訪問（道下）

9. お客様の声（抜粋）

昨年度までは、来館者に当館固有のアンケートを実施していた。今年度は、兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科及び豊岡市のアンケート調査施設として協力したため、当館固有のアンケート調査は実施していない。

10. 日本・モンゴル民族博物館の設置 及び管理に関する条例

平成 17 年 4 月 1 日
条例第 179 号

改正 平成 19 年 12 月 26 日 条例第 66 号
平成 26 年 3 月 28 日 条例第 8 号
平成 27 年 3 月 27 日 条例第 14 号

(設置)

第 1 条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山 711 番地とする。

(事業)

第 3 条 博物館は、第 1 条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第 4 条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第 5 条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第 1 に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第 6 条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等をしようとする者は、市長の許可を受け、1 点 1 回につき

2,000 円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第 7 条 別表第 2 に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第 8 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第 1 項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。
- (3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団その他反社会的な団体又はそれらの構成員が使用すると認めるとき。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長がその使用を不相当であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第 1 項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第 9 条 第 7 条第 1 項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第 10 条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

- (1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。
- (2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。
- (3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。
- (4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。
- (5) 第 8 条第 1 項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第 11 条 市長は、第 7 条第 1 項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第 2 に定める使用

料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第 12 条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第 13 条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第 10 条第 2 項の規定により教育委員会が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第 1 項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)

第 14 条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者
- (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者

(行為の禁止)

第 15 条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。

(原状回復の義務)

第 16 条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第 7 条第 1 項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。

(損害の賠償等)

第 17 条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。

(委任)

第 18 条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例（平成 8 年但東町条例第 21 号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)

3 第 5 条の規定は、平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則（平成 19 年 12 月 26 日条例第 66 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 20 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第 2 の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則（平成 26 年 3 月 28 日条例第 8 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（平成 27 年 3 月 27 日条例第 14 号）

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

別表第 1（第 5 条関係）

区 分	観覧料（1 人 1 回につき）		備 考
	個 人	20 名以上の団体	
一 般	500 円	450 円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15 歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学 生	300 円	250 円	
小学生・中学生	200 円	150 円	

別表第 2（第 7 条、第 11 条関係）

区 分	使 用 料		
	午前 9 時から午後 5 時まで	午後 1 時から午後 5 時まで	午後 6 時から午後 10 時まで
企画展示室	1,500 円	2,000 円	
体験交流室	1,200 円	1,600 円	1,600 円
天幕住居（ゲル）	1 基につき 5,000 円		
備考	1 冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の 3 割に相当する額を加算する。 2 電気釜の使用料は、1 回当たり 1,000 円とする。		

11. 施設概要

(1) 本館建設概要

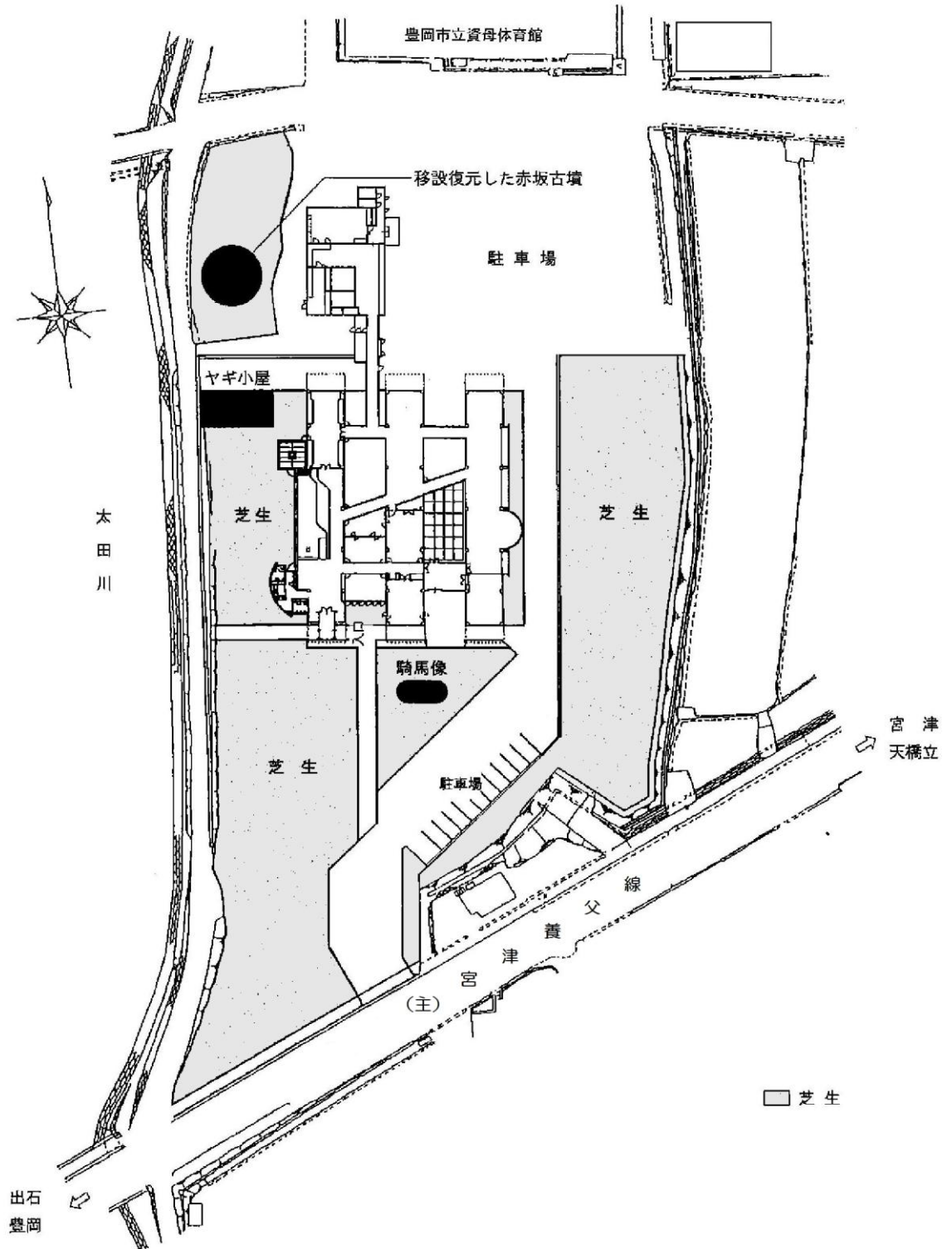
位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
工 期	建物 着工 平成7年12月14日 竣工 平成8年8月12日 展示 着工 平成8年5月7日 竣工 平成8年10月30日
敷地面積	10,402.84 m ²
建築面積	999.65 m ²
構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦葺葺 立体トラス鉄骨 (KTトラス)
各室面積	玄関ホール・たんとうの森 211.6 m ² 、 収蔵庫1 54.6 m ² 、収蔵庫2 56.5 m ² 、 荷解室 33.3 m ² 、応接室 28.0 m ² 、 事務室 33.3 m ² 、資料整理室 48.2 m ² 展示室「アジアの歴史」 75.7 m ² 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」 206.8 m ² 展示室「チベット仏教」37.7 m ² 企画展示室 74.4 m ² シルクロード(回廊)1 13.3 m ² 、シルク ロード(回廊)2 13.3 m ² 、シルクロード(回 廊)3 12.6 m ² 、シルクロード(回廊)4 12.6 m ²

建物規模	平屋建て 東西 41.8m 南北 42.5m 地上高 9.0 m 〈外装〉複層吹付 〈内装〉床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : 山本窯業化学テラックス、 石膏ボード、化粧合板 天井: 杉小幅板、岩綿吸音板貼
仕 上 げ	

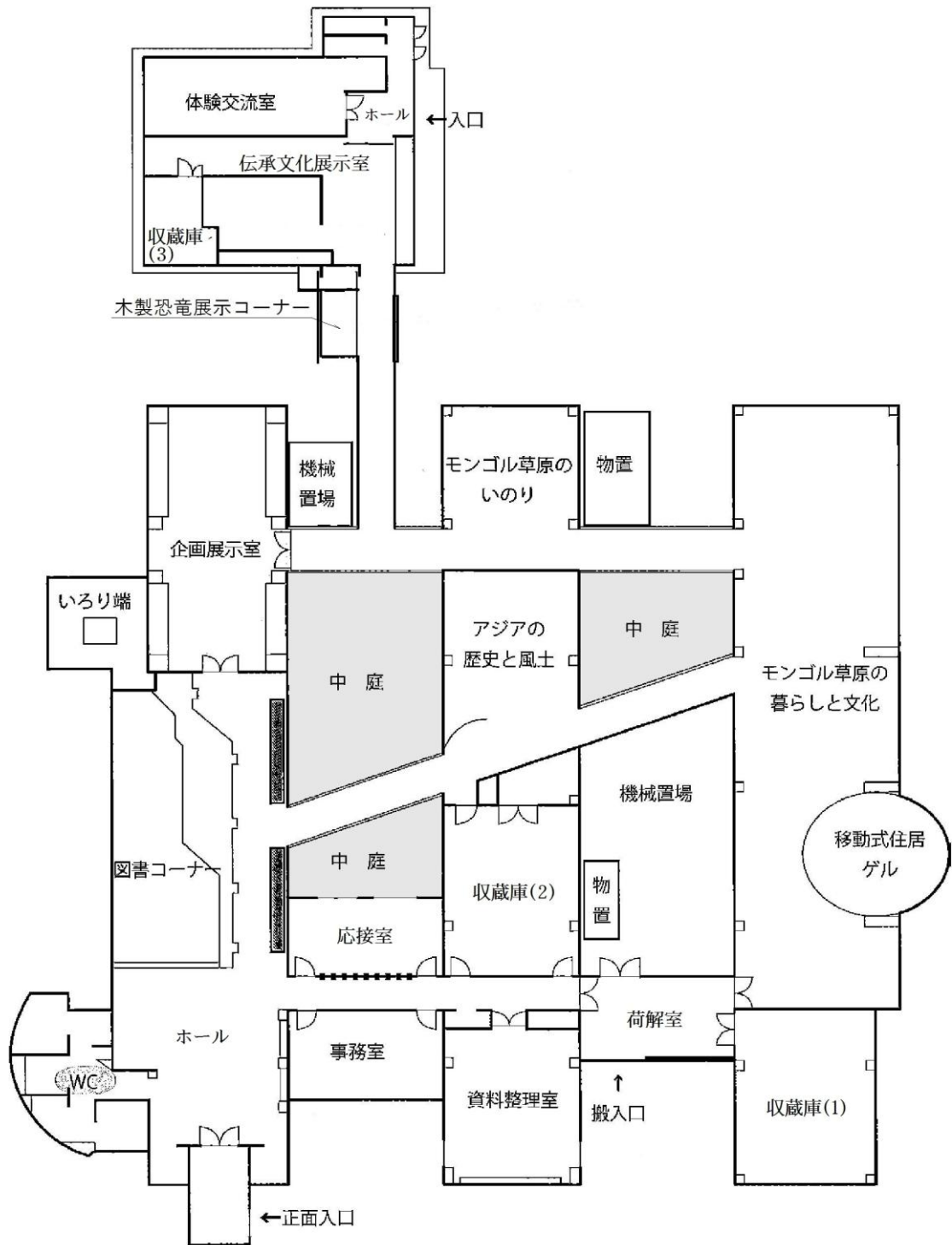
(2) 伝承文化体験交流館建設概要

位 置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
工 期	建物・展示 着工 平成11年9月14日 竣工 平成12年3月29日
敷地面積	317.57 m ²
構造概要	一部鉄筋コンクリート造 木造瓦葺
各室面積	体験交流室 62.6 m ² 、展示室「豊岡市 たんとうの暮らしと文化」 112.5 m ² 、 シルクロード(回廊)5 36.4 m ² 、収蔵 庫 27.2 m ²
建物規模	平屋建て 東西 12.8m 南北 21.2m 地上高 7.1 m
仕 上 げ	〈外装〉押出形成セメント板 〈内装〉床 : モルタル下地タイルカー ペット貼 壁 : ビニルクロス貼 一部杉 板張 天井: 化粧P B張 一部杉板張

(3) 配置図



(4) 館内図



12. 交通案内



- JR で（山陰線）
豊岡駅よりバスで約 60 分 出石で乗り換え（奥藤行き）モンゴル博物館前下車
- お車で
大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道
福知山ICより約60分
京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路
与謝天橋立ICより30分
姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路 八鹿氷ノ山IC
より約60分

13. 利用案内

- 開館時間 9 時 30 分～ 17 時
(入館は 16 時 30 分まで)
 - 休 館 日 水曜日 (祝日の場合は翌日)
年末年始 (12 月 28 日～ 1 月 4 日)
展示替えによる臨時休館
 - 入 館 料 一 般 500 円 (450 円)
高校・大学生 300 円 (250 円)
小学・中学生 200 円 (150 円)
- ※ () 内は 20 名以上の団体の場合
 ※障害者手帳をお持ちの方は各料金の半額
 ※65 歳以上の方は半額
 ※兵庫県内の小・中学生はココロンカードの提示により無料

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第17号

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum
No. 17 (for the fiscal years of 2015)

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山711

711 Nakayama, Tanto-town, Toyooka-city, Hyogo Pref. 668-0345 Japan

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

URL <http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

E-mail monpaku@city.toyooka.lg.jp

発行／豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

平成 28 年 3 月 31 日発行